



2018年度 平田中学校



図書館便り No.7



2018年8月27日発行



この夏休みはじっくりと読書ができましたか？
～夏休み用に貸し出した本は、2学期最初の開館日

8月29日(水)に忘れず返却して下さい！～



立秋も過ぎ、暦の上ではもう秋です。でも、まだまだ暑い日が続いています。これからしばらくの間は、文化発表会や体育大会など、行事の準備で忙しくなりますね。皆さん、身体に気を付けて充実した2学期をスタートさせましょう！忙しい毎日に疲れたなと思ったら、昼休みのひとときに図書館に来てみませんか。

好きな本をゆっくり読んだり、文字を読むのが苦手な人は、写真のたくさんある本を眺めたりするのもいいですね。20分間のんびり過ごして、気持ちをリフレッシュしてみてください。



～1年生が図書室で調べ学習を行いました！～



国語科の授業で、1年生が人物調べをしました。平田中の図書室の本と、茨木市内の他中学からお借りした本を使い、スポーツの選手や歴史上の人物、音楽家などいろいろな人について調べました。秋の文化発表会で展示する予定です。1年生の皆さんの努力の成果を見て下さいね。



のフックトーク

毎月1回集会で図書委員おすすめの本を紹介します。今月は1年2組、2年3組、3年1組、の担当です。



「ツナグ」

辻村深月作

新潮社

1年2組が紹介するのは「ツナグ」です。

ツナグとは、死者とこの世にいる人を結びつける仕事です。亡くなった人気アイドルが心の支えだったOL、母に伝えたいことがある昔気質の頑固な息子、大切な親友を殺す原因を作ってしまったと嘆く少女、婚約した女性を探す男性、そしてツナグの仕事を受け継ぐことになった少年、これらの人物を主人公にした計5つの短編が入っています。一つ一つの話が短いので、朝読にぴったりです。図書室にも置いてあるので、ぜひ読んで下さい。

「バッタを倒しにアフリカへ」

前野ウルド浩太郎作

光文社新書



2年3組が紹介する本は「バッタを倒しにアフリカへ」です。

この本は、アフリカで大発生して深刻な被害を及ぼしているバッタを倒すため、モーリタニアという国に行った著者の実話です。

著者は、ある観光客が、大発生したバッタに緑色の服を食べられたという話を知ります。そして、自分もバッタに食べられたい、という夢をかなえるため、バッタの研究者になったのです。相棒のティジャーニや仲間と一緒に、バッタが大発生するのを待ち、その間にも新しいことを発見していきます。

文字は多いかもしれませんが、写真もところどころにあるので、読みやすく面白と思います。図書室にも置いてあるので、ぜひ読んでみて下さい。

「空想科学読本 1」

柳田理科雄 作

メディアファクトリー



3年1組が紹介する本は「空想科学読本」です。

この本は、映画やアニメなどで描かれていることがもしも現実であり得るなら、どのような現象として起きるのか、ということを科学的に考えています。例を挙げてみると、仮面ライダーの変身は一瞬の出来事です。それが身体にどのような影響を与えるのか、などの話がたくさん詰めこまれています。

理科好きの人は必ず、そうではない人も、きっと楽しめると思います。シリーズで17巻まで揃っています。図書室にも置いてあるのでぜひ読んでみて下さい。